

長野県の実践について

令和 7 年 11 月 12 日
疾病・感染症対策課

1 令和 6 年度の新規ドナー登録数

長野県 265 件	献血ルームでの登録 134 件
	献血併行型での登録 108 件
	保健福祉事務所での登録 23 件

< 窓口別登録者数と登録会開催回数 > (日本骨髄バンク提供資料)

年度	登録会開催数	移動献血併行型	献血ルーム	保健所	その他	合計
R2	63 回	211 人	128 人	15 人	0 人	354 人
R3	86 回	217 人	220 人	15 人	0 人	452 人
R4	82 回	150 人	119 人	26 人	0 人	295 人
R5	69 回	140 人	129 人	51 人	5 人	325 人
R6	67 回	108 人	134 人	23 人	0 人	265 人

2 ドナー登録から提供までの流れと取組

「ドナー登録から提供までの流れ」と「そのタイミングに対応した取組」は以下の図のとおり。



① 骨髄バンクについて知ってもらう取組(啓発)、②登録を後押しできる取組(インセンティブ)

(1) 高校生向けチラシの配布 ①

- ・ 令和7年1月末に、高校卒業生向けの啓発チラシ(ギフトオブライフ)を県内すべての高校に配布。(17,860枚)
- ・ 語り部派遣に関する案内(県ホームページURL)を県内すべての高校に通知。

(2) 骨髄バンク推進月間(10月)における啓発 ①

- ・ 普及啓発ポスター・チラシの配布

配布先:

- ① 保健福祉事務所を通じて管内市町村等にポスター、パンフレット、チラシを配布。
- ② 長野県赤十字血液センターの協力の元、令和7年10月に献血された方(予定人数6,800名)に疾病・感染症対策課が作成した啓発チラシを配布。
- ・ 防災無線等無線放送、ケーブルテレビ等有線放送による登録呼びかけ(市町村)
- ・ 広報誌、ホームページ等への掲載(県、市町村)
- ・ 骨髄バンク啓発コーナーの設置(保健福祉事務所)
- ・ 県職員向けに、合同庁舎の庁内放送にてドナー登録の呼びかけ

(3) AC長野パルセイロのホームゲームでの啓発 ①、②

- ・ 令和7年9月13日(土)の長野パルセイロホームゲームで献血に並行し、骨髄バンクドナー登録会を開催 ※薬事管理課(献血担当)との同時開催
- ・ 観戦者パンフレットへ同封し、ドナー登録啓発チラシを配布(3,000枚)
- ・ 場内アナウンス、大型ビジョンでの啓発
- ・ AC長野パルセイロのホームゲームの登録会で選手サインをプレゼント
結果：1名の登録

(4) 信州ブレイブウォリアーズのホームゲームの登録会で選手サインをプレゼント ①、②

- ・ 令和7年4月12日(土)の信州BWのホームゲームで献血に併行し、骨髄バンクのドナー登録会を開催。※献血は長野白樺ライオンズクラブが主催
- ・ 登録者には選手サインをプレゼントする企画を実施。
- ・ 結果：13名の登録



(5) 長野県立大学の並行登録会でアルクマグッズをプレゼント ①、②

- ・ 疾病・感染症対策課が同大学に交渉し、骨髄バンクのドナー並行登録会を初開催(令和7年10月21日(火))
- ・ 啓発品としてアルクマのイラスト入りマスクと缶バッジを用意。
- ・ 結果：4名の登録



③ 登録に関する取組

(1) 保健所での登録受付の実施

- ・ 県では献血ルームのない地域の 8 保健所においてドナー登録の受付を行っている。
- ・ 令和 6 年度は 23 名の登録
- ・ 令和 7 年度は 9 名の登録（令和 7 年 10 月末現在）

(2) 赤十字血液センター及びひまわりの会による並行登録会の実施

- ・ 令和 6 年度は 68 会場で並行登録会を開催いただき、108 名の登録

④ 骨髄提供に向けた取組

(1) 長野県骨髄バンクドナー助成事業補助金（令和元年度から市町村と共同で実施）

○ 目的

- ・骨髄バンクを介し、骨髄提供希望者の 95%は HLA 型が適合するドナー登録者が見つかるが、実際に提供を受けられるのは 6 割程度。
- ・骨髄等提供に必要な 7～10 日程度の入院・通院期間にかかるドナー・事業所に対する負担を軽減し、骨髄提供の推進を図る。

○ 事業内容

- ・ドナー 1 日毎 2 万円・事業所 1 日毎 1 万円、上限 10 日間として助成

※県 1/2、市町村 1/2 補助

- ・県内市町村の導入状況（R7.10 調査時点）

導入済・・・・・・・・・・55 市町村 ◎すべての市で導入済み

導入予定あり・・・・・・18 町村（導入予定時期：令和 8 年度以降、住民からの要望があり次第）

○ 実績

- ・過去の県内骨髄等提供者数と補助実績

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7.9 末
提供者数※1	16 人	14 人	14 人	25 人	20 人	21 人	23 人	14 人	4 人
補助実績※2 (本人)	—	—	5 人	16 人	14 人	17 人	22 人	13 人	3 人
補助実績 (事業所)	—	—	3 カ所	9 カ所	6 カ所	9 カ所	7 カ所	4 カ所	1 カ所

※1：日本骨髄バンク資料から。

※2：市町村から県への申請件数を計上。前年度提供者が翌年度に申請することもあるため、提供者数を上回る場合がある。

- ・助成対象の内訳

	ドナー	事業所	県助成額	市町村助成額	助成額合計
R02	16 人	9 カ所	190 万 5 千円	190 万 5 千円	381 万円
R03	14 人	6 カ所	160 万 5 千円	160 万 5 千円	321 万円
R04	17 人	9 カ所	193 万円	193 万円	386 万円
R05	22 人	7 カ所	231 万 5 千円	231 万 5 千円	463 万円
R06	13 人	4 カ所	131 万円	131 万円	262 万円
R07.9 末	3 人	1 カ所	39 万円	39 万円	78 万円